

### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
愛知県名古屋市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前職】  
飲食店スタッフ  
【活動時期】  
R2.8～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学1年生のときに猪による獣害を経験したが、院卒というのもあり卒業後すぐには獣害対策の道に進まなかった。前職の飲食店が緊急事態宣言発令のため臨時休業となり、考える時間ができた結果、移住して新しい生活を始めたいという想いが強くなった。ジビエ活用に興味を持ったため応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

転職して資金的に体力をつけてから、ジビエ浦ノ内企業組合の猪肉を活用した事業を始めようと思っている。

### 活動内容

#### ●地元の猟師さんから搬入された猪の解体

地元で自家消費しきれず、廃棄されていた猪を有効活用するため、獣肉解体処理施設のジビエ浦ノ内企業組合にて猪の解体に従事。「習うより慣れろ」という感覚で、とにかく数をこなして覚えていった。



#### ●(株)パンクチュアルと連携したふるさと納税返礼品開発

脂が乗っていない夏の赤身の猪肉を売っていくため、切落しが1.2kg届くというオトク感のある返礼品を開発した。ふるさと納税doを使用した返礼品発送管理のしくみは導入・運用がスムーズに行くまでとても苦労した。



#### ●県内・県外商談会への参加

高知県は「猪はもらって食べるもの」という認識があり地元では売れにくい。このため県内外の商談会に積極的に参加し販路獲得に取り組む。飲食店のオーナーとの直接やり取りや、流通業者との交渉などを行う。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
起業Instagram: gibier\_uranouchi\_official